

「インターンシップ」において単位認定を行うための報告書です。
項目（１－３）に沿って２枚程度にまとめ提出してください。

学籍番号	37-176839
氏名	フリガナ: タムラ コウイチロウ 漢字: 田村 浩一郎
就業機関	就業機関名: 株式会社 IGPI ビジネスアナリティクス&インテリジェンス 部署名:
実習指導担当者	(職名 代表取締役 CEO) 氏名 川上 登福
実習期間	2015 年 12 月 1 日 (火) ~ 2017 年 12 月 1 日 (金) 実動 260 日間
参加の目的	データサイエンス・コンサルティング技能の習得 人工知能のビジネス応用の習得 ビジネススキルの工場

【1. 業務内容の概要】

トランス・コスモス株式会社に対して、Facebook 広告代理店運用を AI を用いて最適化する。

まず、データの取得からアドバイスおよび実装開発に取り組み、Facebook API を用いてデータサイエンスを行うため必要なデータの構築を行った。そして、目的に対してサブゴールを2つ設定した。サブゴール1は過去の広告運用 Log から将来の広告セットのパフォーマンスを推定するモデルを構築すること、サブゴール2は、サブゴール1で作成したモデルを用いて、運用アクションの最適化問題を解くアルゴリズムを開発・提案した。

具体的な業務としては、週1でチーム内部 MTG を行い、月1でクライアント MTG を行った。議論資料作成、データ分析、システム開発を行った。

【2. 実習の成果と反省点】

実習の成果としては、データの取得システムの構築および日本での Facebook 広告運用 Log を用いて有意な予測結果を出すモデルを構築することに成功し、運用アクションの最適化アルゴリズムを提案することができた。さらに、このモデルを用いて他国での運用することになった。

【3. 実習を振り返っての所感及び今後の課題】

データサイエンスや実装だけでなく、基本的なビジネススキルや現場での AI のビジネス応用を実践で行えたことが良かった。また、チームでのプロジェクト管理やクライアントとのコミュニケーションなども、メンターの方に指導いただいて大きく成長できたと思う。一方で、クライアントの要望を引き出したり、チームでの開発や目的共有をもっと効率的に行うことに関して多くの改善の余地があると感じている。